

鎌倉市 高潮ハザードマップ

由比ガ浜・材木座エリア版(鎌倉地域)

普段から備え

ハザードマップを活用して避難行動を考えよう!

いざ災害時に

命を守る行動

地震

津波

内水

洪水

土砂災害

高潮

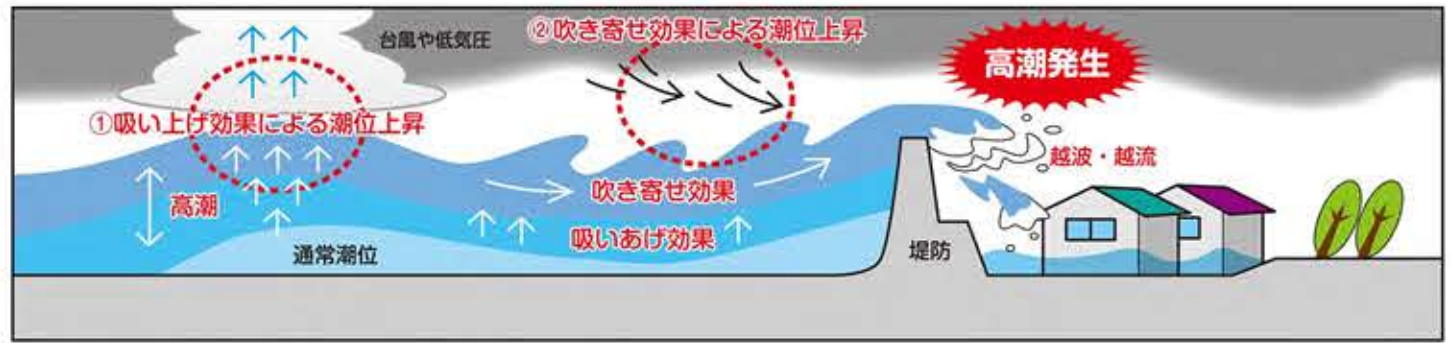


高潮とは

高潮発生仕組み

高潮とは、台風や発達した低気圧の接近により潮位(海面)が高くなる現象です。主な原因としては次のとおりです。

- ①気圧低下による吸い上げ**
台風や低気圧の中心では気圧が周辺より低いため、気圧の高い周辺の空気は海水を押し下げ、中心付近の空気が海水を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa(ヘクトパスカル)下がると、潮位は約1cm上昇すると言われています。
- ②風による吹き寄せ**
台風や低気圧に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が上昇します。風速が2倍になった場合、海面上昇は4倍となります。



高潮発生時に注意すべき事項

高潮が発生した場合、海水が陸地へ流れ込み浸水による被害を起こします。特に、次のような場所や時間には気をつける必要があります。

海岸近くの低地
海岸近くの低地では、高潮による浸水被害が起こる危険性が高くなります。

湾の奥や河口部
湾の奥は吹き寄せられた海水が集まり、水位が上がります。河口部では高潮と洪水が重なる危険性があります。

大潮の満潮時
台風接近時に最も潮位の高くなる大潮の満潮時と台風の接近が重なると、高潮の危険性も高くなります。

高潮と台風

「台風」は高潮を引き起こす要因である「低気圧」と「強風」を併せ持っています。台風の接近が予想される場合、高潮発生の可能性が高くなります。

台風と進路との関係
台風は進行方向に対して右側の風が強く、吹き寄せ効果による高潮が発生しやすくなります。

台風の強さ(最大風速)

強い台風	非常に強い台風	猛烈な台風
33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満	54m/s(105ノット)以上
立ち上りられなくなり、看板などが飛ぶ	樹木が折れ、トラック等が横転する	樹木や電柱が折れ、住家破壊の危険性がある

避難の心得

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難(水平避難)

河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難(水平避難)は災害が発生する前に行うことが原則です。

屋内安全確保(垂直避難)

屋外へ出ることが危険な場合は、避難するタイミングに応じて自宅に留まり2階へ移動するなど、屋内安全確保(垂直避難)をしましょう。

状況に応じた避難行動

神奈川県では、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位として、「高潮特別警戒水位」を設定しました。

検潮所の水位がこの水位に達した場合には、県は「高潮氾濫発生情報(避難情報等)における警戒レベル5相当情報」を発表します。台風による強風や大雨、またはすでに高潮発生が予想されるため、立退き避難は危険な場合があります。状況に応じた避難行動をとりましょう。

近隣の避難所や浸水想定区域外への立退き避難等 (これまで通りの対応)

高潮警報等の発表→市が総合的に判断し避難指示を発令

通常の水位 ↑ 危険な水位に達する予測

※高潮警報：危険な水位に達することが予測される場合、3～6時間前に気象庁が発表する情報で、まだ、風は強くない状況であり、近隣の避難所や浸水想定区域外への立退き避難等ができる段階

さらには水位が上昇

高潮特別警戒水位に到達→県が高潮氾濫発生情報を発表

通常の水位 ↑ 高潮による水位の上昇

※高潮氾濫発生情報：高潮により水位が上昇し、いつ氾濫してもおかしくない状況、高潮による氾濫もしくは高波による浸水により浸水が発生したとき又は氾濫したものと推測されるときに県が発表する情報で、氾濫の発生に対する対応(屋内等での安全確保)を求める段階

風水害時のわが家の避難行動(マイ・タイムライン)

家族でハザードマップを使い、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動(マイ・タイムライン)」について話し合い、必要事項を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名前	電話番号	必要事項(常備薬等)	避難の際、支援してくれる人
			名前:
			住所:

必要項目に記載し、にチェックしましょう。

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

自宅は高潮浸水想定区域内にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	自宅は高潮による浸水被害等が想定される区域内(浸水、氾濫)にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
高潮浸水深は: m	浸水継続時間は: 時間
自宅は洪水浸水想定区域内にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	自宅は洪水による浸水被害のおそれのある区域内にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
洪水浸水深は: m	浸水継続時間は: 時間
自宅は内水氾濫浸水想定区域内にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	自宅付近に道路冠水箇所はあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない
自宅は土砂災害警戒区域内(急傾斜地、土石流)にあるか <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	

■避難するタイミング、避難する場所

実態に避難するときと避難するの、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えておきましょう。

- 風水害に関する情報を収集し、危険を感じたら、避難情報を入力したらわが家、自宅に待機し、状況に応じて避難します。 (避難所、親戚・知人宅へ) 水平避難します。 移動時間:
- 水平避難の途中で危険を感じたら、緊急的に垂直避難します。 移動時間:

※高潮、洪水、内水氾濫、土砂災害は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう。

情報の入手先

各情報源から入手できる情報

気	気象情報	河川	河川水位情報	土	土砂災害情報	避	避難情報
テレビラジオ	気川 土 津	テレビ ケーブルテレビ(J・COM湘南・鎌倉)	ラジオ 鎌倉エフエム放送(82.8MHz)				
メール(携帯電話など)	気川 土 津	登録 鎌倉市防災・安全情報メールサービス	必要 https://service.sugumail.com/kamakura/	登録方法			
インターネット	気川 土 津	鎌倉市ホームページ	https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/	気土	神奈川県土砂災害情報ポータル	http://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/	
防災行政用無線	気	気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/jma/index.html	川	国土交通省 川の防災情報	https://www.river.go.jp/	

風水害時の避難施設

【拠点】	避難所 (三二防災拠点)	風水害等の災害が発生するおそれがある場合など、住民等への危険が切迫した際に、早期の段階で開設する避難所として、市立の小・中学校を指定しています。			
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
鎌倉	第一小学校	由比ガ浜 2-9-55	鎌倉	第一中学校	材木座 6-19-19
【補助】	補助避難所(予備避難所)	福祉避難所			
地域	名称	所在地	地域	名称	所在地
鎌倉	鎌倉女学院中学校・高等学校	由比ガ浜 2-10-4	鎌倉	名越やすらぎセンター	材木座 2-15-3

防災関連機関一覧

機関	名称	所在地	機関	名称	所在地
鎌倉警察署	由比ガ浜 2-11-26	消防署・消防出陣所	鎌倉消防署	由比ガ浜 4-1-10	
名越交番	大町 4-4-5	救急告示 医療機関	鎌倉ヒロ病院	材木座 1-7-22	
蒲川交番	由比ガ浜 4-1-1				

標高マップ



風水害時の情報と行動の目安

警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	状況	住民の皆さんが取るべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)			
				浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(高)	手シクル(危険度分布)	高潮情報
警戒レベル 5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保!	緊急安全確保	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)	災害切迫	

〜〜〜〜〜 **<警戒レベル4までに必ず避難!>** 〜〜〜〜〜

警戒レベル	災害のおそれ	危険な場所から	避難指示	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報	危険	高潮警報
警戒レベル 4	おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険情報	大雨警報	警戒(警報級)	高潮警報または高潮特別警報
警戒レベル 3	おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警戒情報	大雨警報	警戒(警報級)	高潮注意報
警戒レベル 2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報		注意(注意報級)	高潮注意報
警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報				

※気象庁は、住民自らの避難の判断を下す際に参考となるよう気象情報に「警戒レベル(3～5)相当」というように「相当」という表現を用いて発表しますが、市では、市内の状況を見極めて避難情報を発令するため警戒レベルと警戒レベル相当は必ずしも一致しません。

高潮に関する情報

高潮・台風に関する気象情報は、気象庁が発表します。テレビ・ラジオ、ホームページなどで情報を確認しましょう。

警戒レベル相当情報	気象情報	情報の意味	住民の皆さんが取るべき行動
5相当	高潮氾濫発生情報	検潮所の水位が災害の発生を特に警戒すべき水位として設定した「高潮特別警戒水位」に達した場合に発表(いつ氾濫してもおかしくない、または氾濫の発生時)高潮氾濫発生情報は神奈川県が発表します	緊急的に屋内等での安全確保(浸水深以上のフロア等で安全を確保)
4相当	高潮特別警報	数十年に一度の台風や同程度の温帯低気圧により、高潮になると予想される場合に発表	危険な場所から全員避難!
4相当	高潮警報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	危険な場所から全員避難!
2～3相当	高潮注意報	台風や低気圧等による異常な海面の上昇により、災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	自らの避難行動を確認し、状況に応じて避難!

この地図は、国土地理院の「基礎地図情報(数値標高モデル)」を使用したものです。